

群馬県生活安心いきいきプラン〔2021-2025〕素案の概要

生活こども部生活こども課

基本的な考え方

策定の趣旨

□群馬県の「生活分野」における様々な施策について、県民が安心感や幸福感を持って暮らせる社会環境の実現に向けて、各施策を統括し、計画的に推進することを目的として策定

計画の位置づけ

□「生活分野」における最上位計画
□「ぐんま子ども・若者未来ビジョン2020」との調和

計画の期間

□令和3(2021)~令和7(2025)年度(5か年計画)

現状と課題

生活分野の課題

□インターネット上の誹謗中傷被害の発生
□多様な性や立場、生き方に対する偏見や差別
□地域活動の担い手の減少と需要の高まり
□エネルギーの大量消費や廃棄物の排出等の問題の深刻化
□消費者被害や特殊詐欺、子ども・女性を狙った犯罪被害の発生
□相次ぐ児童虐待と強く関連するDV被害

県民を取り巻く現状

□ニューノーマルへの転換
□コロナを機に加速する、社会・経済のデジタル化
□新型コロナウイルス感染症の発生に伴う人権侵害等新たな課題の発生

目指す社会の姿と方向性

総合計画(ビジョン)の目標

□誰一人取り残さない自立分散型社会の実現
□全ての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会

生活・子ども分野の視点

□県民を取り巻く生活環境は一人ひとり異なり、抱えている困難も様々であることから、それぞれの状況に応じた支援が求められる

誰一人取り残さず、全ての県民が幸福を実感できる社会のため、生活分野では「一人ひとりに寄り添う」ことを重視し、目指す社会の姿を設定

・「一人ひとり」が尊重され、安全・安心に暮らせる社会

・「一人ひとり」が支え合い、活躍できる社会

施策の体系と展開

基本理念

県民の誰もが安全・安心に暮らし、
希望をもっていきいきと活躍できる社会の実現

総合計画(ビジョン)の横軸〔SDGs軸〕

・県民総活躍
・地域経済循環の推進
・官民共創コミュニティの創設
・安全性・持続性(SDGs)

総合計画(ビジョン)の縦軸〔価値創造軸〕

・「始動人」の発掘・登用
・DXによる業務効率化と県民の利便性向上
・DXの進展に伴う新たな生活分野の課題の対応

施策体系

基本方針	ビジョンの位置付け	施策目標	主な施策内容
I 一人ひとりを尊重する	県民総活躍	1 人権を尊重した考え・行動ができる社会を実現する	・各種啓発事業の実施による人権意識の高揚 ・LGBTQをはじめ様々な立場・属性の方々の人権の尊重 ・インターネット等による人権侵害の防止と被害者支援
	県民総活躍	2 性別にかかわらず一人ひとりが尊重され、ともに支え合う社会を実現する	・男女共同参画社会の浸透に向けた意識啓発や環境整備の実施 ・ぐんま男女共同参画センターの機能強化
	始動人 県民総活躍	3 女性が自ら思い描く人生を生き、活躍できる社会を目指す	・ICTを活用した女性活躍のための人材育成支援 ・女性を応援する体制の整備による女性参画拡大の機運醸成 ・女性が少ない職域への就業の推進による新たな価値の創出
	誰一人取り残さない	4 犯罪や非行をした人々を孤立させない社会を実現する	・各種団体と連携し、再犯防止に関する啓発活動等を実施 ・生きづらさの原因に応じた支援を提供し、社会復帰を支援
II 一人ひとりの活動を支える	官民共創 コミュニティ	5 様々な主体が協働・共創する社会を実現する	・官民協働・共創により群馬の風土を活かした地域課題の解決 ・DXの推進によるNPO活動の活性化 ・情報公開や広聴事業を通じた県民の県政への参加促進
	地域経済循環	6 持続可能な社会に向けた消費行動を推進する	・エシカル消費等環境に配慮した持続可能な消費行動を推進
III 一人ひとりを被害から守る	SDGs (安全性)	7 消費者の権利を尊重し、被害を未然に防止する	・被害の未然防止と被害救済による消費者利益の擁護 ・悪質な事業者への監視・指導の徹底
	SDGs (安全性)	8 特殊詐欺や、子ども・女性への犯罪等の被害を防止する	・地域の防犯力の向上に取り組み、暮らしの安全を確保 ・インターネット等による有害環境から子どもを守る取組の推進
	誰一人取り残さない	9 犯罪被害者等が安心して暮らせる社会を実現する	・犯罪被害者等を社会全体で支えるための啓発活動の実施 ・犯罪被害者等が平穏な生活を取り戻すための支援体制の整備
	SDGs (安全性)	10 配偶者等からの暴力を許さない社会を実現する	・予防教育・広報啓発によるDVと児童虐待の未然防止 ・DV被害者及びその子どもの自立の支援